

#### 4. ファイル共有（バックアップも兼ねて）

卒論関係のファイルを USB メモリに入れて持ち歩くのではなく、研究室の PC から自宅の PC から特別な操作無しで扱えるようにしたい（共有したい）という場合は Dropbox や Google Drive, SkyDrive, iCloud などがお勧めです。「何を言ってるのか意味が分からない」という方はだまされたと思って Dropbox をインストールしてみましょう (<https://www.dropbox.com/tour>)。とても便利です。例えば Dropbox を研究室の PC と自宅の PC にインストールすると、両 PC には“My Dropbox”というフォルダが出来ます。ここに入れたファイルは研究室でも自宅でもいじれるようになります。従って研究室での作業後、卒論ファイルを USB メモリに入れて自宅に持ち帰るといった手間をかけなくて済むようになります。

	Google Drive (drive.google.com)	マイクロソフト SkyDrive (skydrive.com)	Dropbox (dropbox.com)	アップル iCloud (icloud.com)
無料容量	5GB	7GB (既存ユーザーは25GB 継続を選択可)	2GB (紹介ボーナスあり)	5GB
追加容量プラン	25GB: 月2.49ドル 100GB: 月4.99ドル1TB: 月49.99ドル ... 16TB: 月799.99ドル	20GB: 年10ドル 50GB: 年25ドル 100GB: 年50ドル	50GB: 月9.99ドルまた は年99ドル  100GB: 月19.99ドルま たは年199ドル  1TB以降:5ユーザにつ き年795ドル、追加ユー ザひとりにつき年125ド ル	10GB: 年20ドル 20GB: 年40ドル 50GB: 年100ドル
追加分GB単価 (US\$, 年間)	1.19 (25GB時) ～ 0.59 (100GB以降)	0.5	1.98	2
1ファイルの最大 サイズ	10GB	2GB	300MB (ブラウザアップ ロード) デスクトップ同期は無 制限	25MB (無料) または 250MB (有料ユーザ)
デスクトップアプリ	Windows, Mac	Windows / Mac	Windows / Mac / Linux	Windows / Mac
モバイルアプリ	Android / iOS (近日公 開)	iOS / Windows Phone	Android / iOS / BlackBerry	iOS
その他	Google検索 (OCR で画 像中テキスト検索、画 像認識で写真中のオブ ジェクト検索 etc)  SDK公開、サードパー ティアプリ連携  Google Docsで編集・共 有  追加容量は Picasa と ドライブで共有。  追加容量を購入する と、Gmail の最大容量 が独立して25GBに拡 大。	Bing検索  SDK公開、サードパー ティアプリ連携  Word / PowerPoint / Excel / OneNote文書 の作成、編集、共有  Windows版のデスクト ップアプリを通じて、リモ ートPCへ SkyDrive か らアクセス可能	共有ファイルのブラウ ザ版ビューア  紹介プログラムでひと り500MB、最大32人 16GBまで、有料ユーザ ーはひとり1GB 最大 32GBまで追加可能。	iOS 統合。iOS の設定 やデフォルトアプリ、サ ードパーティアプリ、写 真などの自動クラウド バックアップ。  ウェブ版 iWork。iOS版 Keynote / Pages / Numbers アプリを購入 して iCloudを有効にし た場合。

Google Drive, Dropbox, SkyDrive, iCloud の比較表

<http://japanese.engadget.com/2012/04/24/google-drive-dropbox-skydrive-icloud/>

このようなサービスを使っていれば、万一パソコンが壊れた時も新しいパソコンに、例えば Dropbox のフォルダを作り直せば前のパソコンでの Dropbox の内容が再現されます。即ち、ファイルのバックアップに使うことが出来るのです。

もっともこのようなファイル共有サービスはいつファイルを流出させるか分からないですから、流出すると非常に困るというファイルは上記フォルダには置いてはいけません（会社の機密ファイルやクレジット番号が書かれたファイルなどは置いてはいけません）。

上では使用者として1人を想定していましたが、2人以上で Dropbox のフォルダを共有することも出来ます。これを使えばゼミの先輩後輩同士、あるいは同期同士で卒論やプログラムを共有し、互いにコメントし合ったりすることが出来るようになります。またゼミや面談の日時設定にも使えるかもしれません。

## 5. メモ（アイデアやその日に行った作業を書き留めておく）

思いついたアイデアやその日に行った作業などを記録しておくには Evernote が便利です。画像を貼り付けたり携帯からメモを送ったりすることも出来ます。「そんなの非公開のブログでいいじゃん」と言われればその通りですが、まあ有名なので... ねこえば (<http://www.nekoeba.com/>) などに詳しい使い方の説明があります。

Evernote でも非公開ブログでも歳森先生の回で紹介されていた手書きノートでもいいのですが、その日行った作業を記録しておく、後でデータの見方が分からなくなるといった危険性を減らすことができます。

## 6. 文献検索・入手（良い情報をなるべく楽に手に入れて体力温存。余力を他の作業に）

論文は CiNii や Google Scholar で探すというのは既に御存知だと思いますので、以下では補足的な話をします：

### 6.1 文献複写

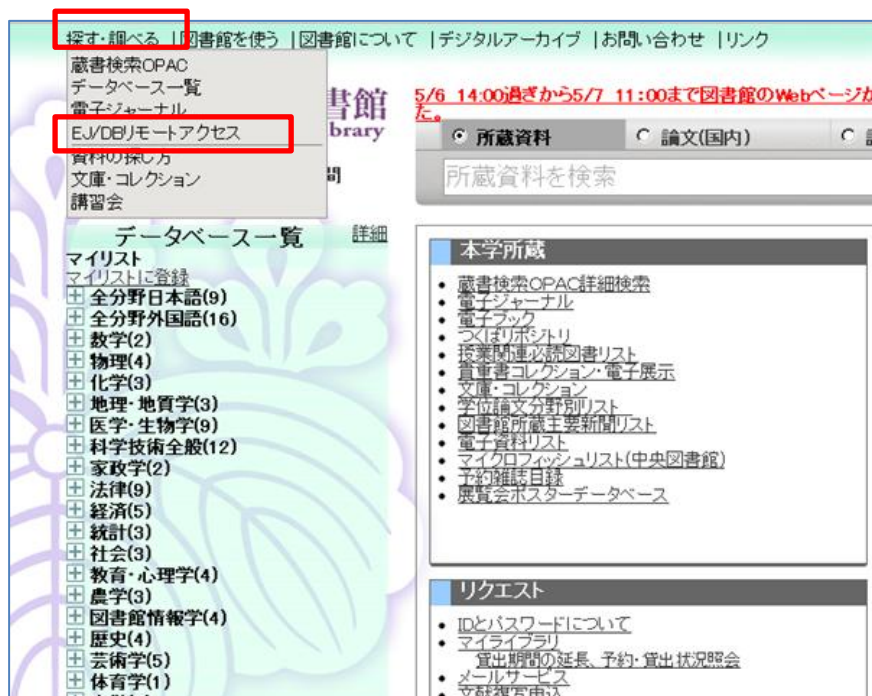
求める文献が本学附属図書館になかった場合は文献複写を用いることになります。以下のページから本学附属図書館に文献複写を申し込むこともできますが

(<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/portal/reference/gakugai-copy.php>)、その複写物は図書館まで取りに行かねばなりません。「家から一歩も出たくない」という方には国立国会図書館への複写依頼もお勧めです。ネットから申し込むことができ、1 ページ約 25 円で複写して自宅まで郵送してくれます (<http://www.ndl.go.jp/jp/service/copy3.html>)。

複写料金表(遠隔複写:国内発送)				
複写方法は、資料の種類によって異なります。資料の種類を「書誌事項」でご確認ください。 資料の保存上の理由等により、ご指定の複写方法で対応できない場合や複写することができない場合があります。				
複写方法	資料の種類	色	大きさ	料金(注1)
<b>電子式複写(普通のコピー)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>特にご指定のない場合は、資料の大きさにあわせて白黒A4またはB4での複写となります。</li> <li>拡大、縮小はできません。</li> <li>資料の破損・劣化等のため、他の複写方法を指定する場合があります。</li> </ul>	紙資料 (冊子体)	白黒	A4 / B4	25.2円 (税抜 24円)
			A3	50.4円 (税抜 48円)
			A2	100.8円 (税抜 96円)
		カラー	B4 / A3	136.5円 (税抜 130円)

## 6.2 リモートアクセス

CiNii でヒットする文献の中には、キャンパス内なら本文が無料だが外だと有料、というものがあります。そのような文献を自宅から閲覧したい場合は図書館 HP 左上の「探す・調べる」から「EJ/DB リモートアクセス」をクリックしてリモートアクセスサービスに入って行きましょう。

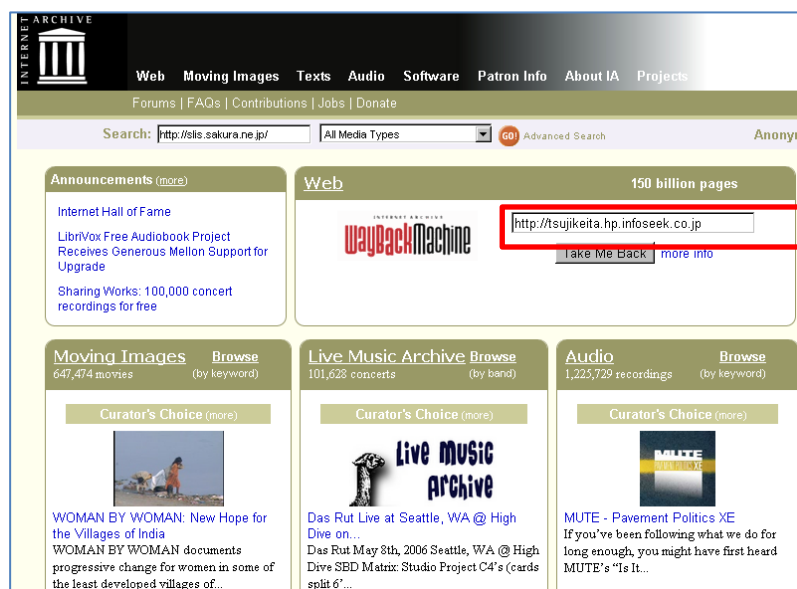


あるいはリモートデスクトップでブラウザを立ち上げ、学内者として CiNii を検索し、本文を表示させましょう (<http://www.u.tsukuba.ac.jp/>)。

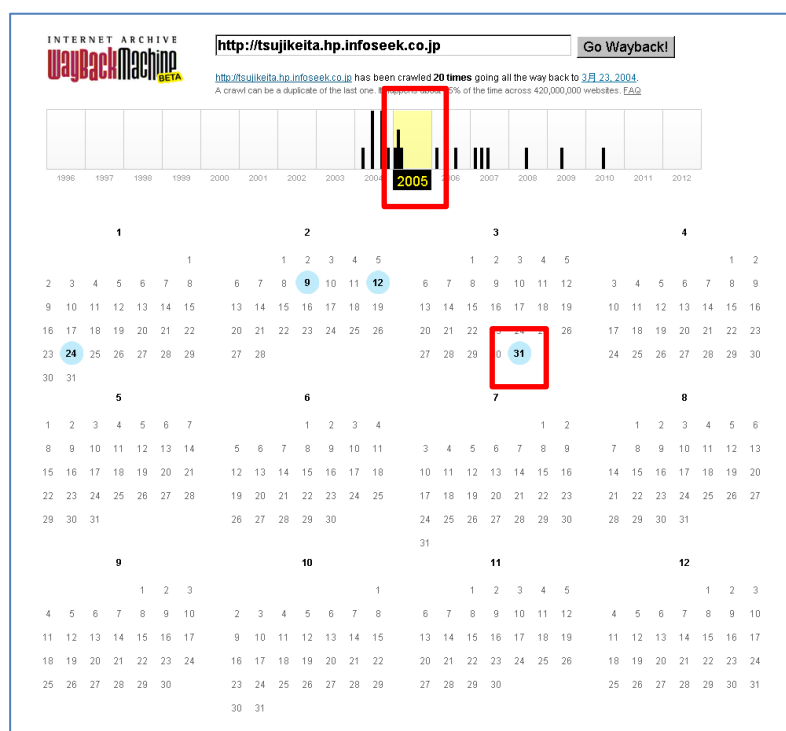
### 6.3 電子的な引用文献のリンク切れ

文献が引用している電子的な文献が、今ではリンク切れになっていることがあります。そのような時は Internet Archive を使いましょう (<http://archive.org/index.php>)。その文献が引用した当時の電子文献が読める場合があります。

まずトップページの“Take Me Back”の部分に、リンク切れになっていた URL を入力します。



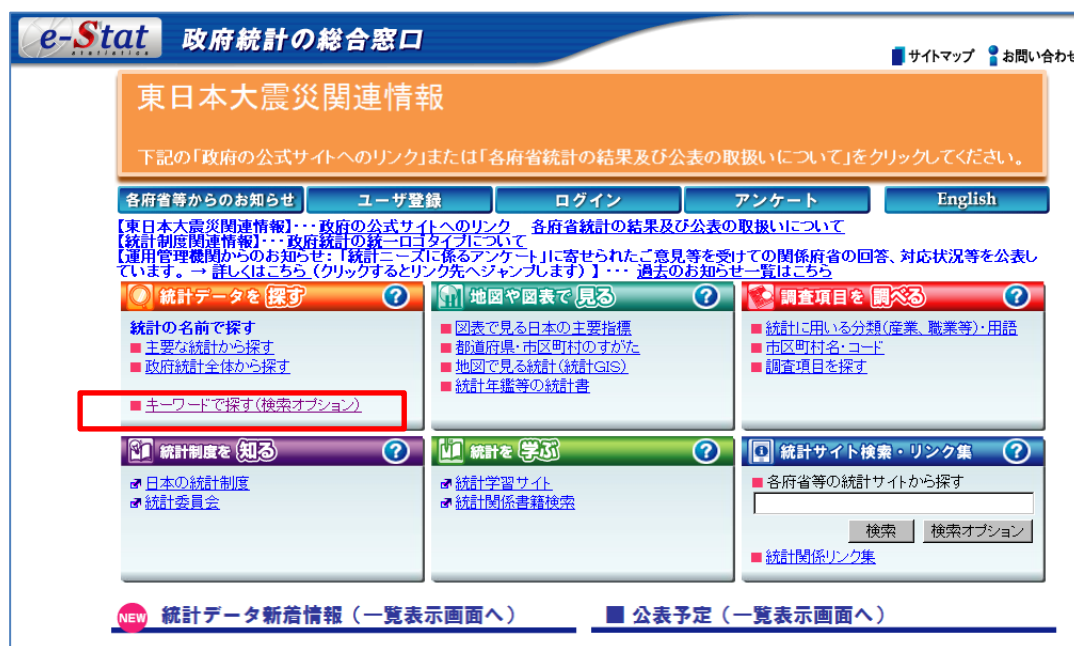
すると以下のようなページが出るので、上の黄色い部分で年を指定し、カレンダーの水色になっている部分で日を指定することで、その年月日当時のページを見ることが出来ます。



上記例は今はない仕の昔の HP です。「Internet Archive を使えば昔の HP が見られる」というのは、万一御存知なかったら絶対覚えておきましょう。

## 6.4 統計情報

政府が出している統計情報は、卒論では有用な情報になり得ます。それらは「政府統計の総合窓口」で探るか (<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>) :



例えば「図書館が書店の経営を圧迫している」というのが本当にそうなのか？」「図書館の貸出量が多い市ほど書籍の購入量も多いと言えたら一つの反証になるのではないか？」(論理的な証明にはなりませんが)、などと思ったら「政府統計の総合窓口」の「キーワードで探す」に「書籍」などを入れて検索してみます。そうすると「1 世帯当たり年間の品目別支出金額、購入数量及び平均価格...県庁所在市別」というのが見つかり、下記のようなデータが手に入ります。

平成22年 2010						単位 円	In Yen
				850	851	854	859
		都 市 階 級		新 聞	雑 誌 ・	書 籍	他の印刷物
		地 方			週 刊 誌		
		都 道 府 県 庁 所 在 市					
		City group			Magazines		
		District			& weekly		Other
		Major metropolitan area		Newspapers	magazines	Books	reading
		City with prefectural government		金 額	金 額	金 額	金 額
				Exp.	Exp.	Exp.	Exp.
		札 幌 市	Sapporo-shi	39,645	5,132	9,725	1,050
		青 森 市	Aomori-shi	33,420	5,919	5,648	1,932
		盛 岡 市	Morioka-shi	29,958	4,962	7,322	980
		仙 台 市	Sendai-shi	36,018	3,427	8,973	1,466
		秋 田 市	Akita-shi	31,052	5,228	7,477	816
		山 形 市	Yamagata-shi	30,530	4,367	7,262	1,702
		福 島 市	Fukushima-shi	32,882	5,335	9,715	1,912
		水 戸 市	Mito-shi	34,617	6,088	11,668	1,474
		宇 都 宮 市	Utsunomiya-shi	31,375	4,889	9,438	1,150
		前 橋 市	Maebashi-shi	32,462	4,180	9,384	1,583
		さ い た ま 市	Saitama-shi	39,790	3,985	13,308	1,945
		千 葉 市	Chiba-shi	40,263	5,230	10,190	2,032
		東 京 都 区 部	Ku-areas of Tokyo	38,498	5,567	15,403	2,301
		横 浜 市	Yokohama-shi	39,241	4,831	11,144	1,069
		新 潟 市	Niigata-shi	37,462	6,478	9,226	2,503

ただ「政府統計の総合窓口」は官製サイトですからレスポンスは遅く突っ慥食です。Googleで「キーワード site:go.jp」などと検索して当たりを付けるのも良いかもしれません（ここで“site:go.jp”はページのドメインが政府であることを指定しています）。ただし Google では出てこないファイルもあるようなので、両方試した方が良いでしょう。

なお自分が求めるデータが存在せず、それがアンケートなどで求められる場合は、インターネット調査で手に入れることも考えられます。Yahoo! リサーチ (<http://research.yahoo.co.jp/>), Survey Monkey (<http://jp.surveymonkey.com/>) などを使えば比較的安くアンケートを行うことができます。ただしインターネット調査ではサンプルが「ネットに慣れていてアンケートに答えるのが趣味」という人に偏ってしまいます。そこから引き出された結果を、日本人全体の傾向と言うのは若干無理があることに注意する必要があります。